

# ウィーン・フーゴ・ヴォルフピアノトリオ プロフィール

ウィーン・フーゴ・ヴォルフピアノトリオは2007年1月にウィーン・フィルの前コンサートマスター、ダニエル・ゲーデにより結成されたピアノ三重奏団で、すでにソリストとして欧米を中心に目覚ましい活躍を続けていたピアニスト、マリノ・フォルメンティ、ウィーン・フィルでチェロの貴公子と呼ばれ、その美音を誇るチェロ奏者ラファエル・フリーダーを配した3名が紡ぎ出す名曲の数々は、わが国の音楽愛好家に熱心な多くのファンを獲得し、2008年

以来3回行われた日本ツアーは極めて成功裏に終始した。2012年にはチェロ奏者として巨匠グスタフ・リヴィニウス(1990年チャイコフスキーコンクール優勝者)が参加し、圧倒的な名演を繰り広げた。そして2016年の日本ツアーではピアニストに名手オリヴァー・トレンドウルを迎え、その巨匠性に満ちたピアニズムと稠密なアンサンブルは日本の聴衆に鮮烈な感動を与えることとなり、再来日が待たれていた。

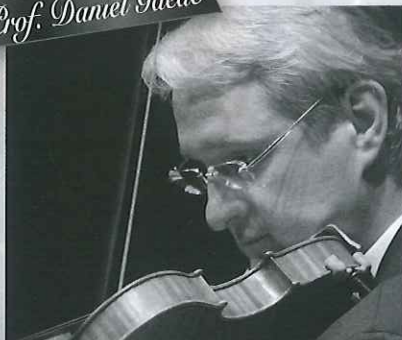
*Oliver Trendel*



オリヴァー・トレンドウル(ピアノ)

1970年に南ドイツのマーラーズドルフで生まれる。ゲアハルト・オピッツやオレグ・マイセンベルク等の薫陶を受け、幼少時より国内外で多くのコンクールで多くの受賞歴を数える。トレンドウルはソリストとして古典及びロマン派から現代曲まで網羅した幅広いレパートリーを持ち、欧米を中心に数多くのリサイタルを行うと同時に、ミュンヘン交響楽団、バンベルク交響楽団、北ドイツ放送交響楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ザールブリュッケン放送交響楽団、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、ローザヌ室内管弦楽団、ポーランド国立放送交響楽団、ポーランド室内管弦楽団、チェコ国立管弦楽団、上海交響楽団などの著名オーケストラと共演し成功をおさめ、その足跡はさらに南北アメリカ、南アフリカ、ロシア、中国、日本等にまで及んでいる。また室内楽の演奏家としても高名でありダニエル・ゲーデ、ロリン・マゼール、ライナー・クスマウル、シャロン・カム、フランソワ・ラリュエ、ダヴィド・ゲリグス、サビネ・マイヤー、ウルフガング・マイヤー、マリー・ルイーゼ・ニューネッカー、グスタフ・リヴィニウス、ベンジャミン・シュミット等の名手と共演している。トレンドウルは録音にも意欲的ですので50枚以上のCDをリリースしている。

*Prof. Daniel Gade*



ダニエル・ゲーデ(ヴァイオリン)

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 前コンサートマスター  
ベルリン・バロック・ゾリステン音楽監督

1966年にドイツ、ハンブルクに生まれる。6才よりヴァイオリンを始め83年ドイツ国内コンクール1等賞及びロンドンにおけるカール・フレッシュ国際コンクール優勝。1986年にはクラウドディオ・アバドの主宰するEUユースオーケストラ、コンサートマスターに就任し、世界的な演奏活動を展開し1992年にはカーネギーホールにデビューした。ソリストとしてロイヤル・アルバート・ホール、バービカン・ホール、ウィーン楽友会館ホールで演奏、ウィーン・フィルやフィルハーモニア管弦楽団を初めとする著名オーケストラと共演する。室内楽奏者としてはゲーデ家の3兄弟でゲーデトリオを結成し、現代音楽を含んだ多彩な演奏活動を展開し、欧米及び日本で多くのTV・ラジオに出演する。ドイツ・グラムフォン、ラルゴ等のレーベルより多数のCDをリリースする。1991年より94年までベルリン芸術大学で教鞭をとり2000年以降はニュルンベルク音楽大学ヴァイオリン科主任教授の重責を担っている。1994年から2000年までウィーン・フィルハーモニー管弦楽団及びウィーン国立歌劇場管弦楽団でコンサートマスターを務めた。2013年から3年間読売交響楽団コンサートマスターの要職に在り、またベルリン・フィルの首席奏者で構成されたベルリン・バロック・ゾリステンの音楽監督を務めた。欧米やアジア諸国で演奏会出演も数多く、毎年、霧島国際音楽祭、軽井沢音楽祭等に招かれ、ソリストや室内楽奏者として多彩なコンサート活動の傍ら積極的に後進の指導にあっている。また2011年秋より東日本大震災被災地応援ツアーを開始し、東北の被災地を毎年訪問して既に90回以上のボランティア演奏会を行っている。

*Prof. Gustav Rivinius*



グスタフ・リヴィニウス(チェロ)

1990年チャイコフスキー国際コンクール優勝者  
チャイコフスキー国際コンクール・チェロ部門審査員

グスタフ・リヴィニウスは1990年にモスクワで開催されたチャイコフスキー国際コンクールのチェロ部門の優勝者で、同時に解釈賞も受賞した。そして現在に至るまでドイツ唯一のチャイコフスキー国際コンクール優勝者であり、すでにチェロ独奏者としての地位を世界的に確立し、バイエルン放送交響楽団、ライプツヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー交響楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団等の著名オーケストラや、ロリン・マゼール、ヴァレリー・ゲルギエフ、クリストフ・エッシェンバッハ、ヴァツラフ・ノイマン、ホルスト・シュタイン等の数々の巨匠たち及び有名な音楽家たちとの共演を続けている。リヴィニウス家は音楽一家としても有名で、兄弟でリヴィニウス・ピアノ四重奏団を結成し長年にわたり演奏活動をしている。またダ・サロトリオ(弦楽トリオ)、バルトルディ弦楽四重奏団に所属し、室内楽奏者としても活発に活躍している。グスタフ・リヴィニウスはHFMザールブリュッケン音楽大学教授であり同時にSchleswig-Holstein音楽祭のマスタークラスを受け持っている。これまでに多くの国際コンクールの審査員を務めてきたが、2011年よりチャイコフスキー国際コンクールの審査員に選出された。日本には2012年及び2015年にウィーン・フーゴ・ヴォルフ三重奏団と共に来日し、その圧倒的な超絶技巧に寄り聴衆の絶賛を浴びた。また2015年2月には東日本大震災被災地応援ツアーのためマクシミリアン・フリーダーと東北の被災地をボランティアとして訪問し12回のコンサートで演奏した。

## とぎつカナリーホールへのご案内

### お車でお越しの場合

川平有料道路出口から琴海方面へ。ヤマダ電機のある交差点を左折、150メートル先を再度左折、坂道を登った正面がホール玄関となります。駐車場(無料)は満車となる場合がございますので、極力公共交通機関をご利用ください。

### 路線バスでお越しの場合

長崎駅前からの場合、長崎バス「満川」「時津」「琴海ニュータウン」行きで30~50分(道路の混雑状況で変わります)。野田バス下車。徒歩約10分。

〒851-2104 長崎県西彼杵郡時津町野田郷62番地

**Togitsu Canary Hall**

**TEL.095-882-0003**

